

2018年11月30日

各 位

株式会社 みちのく銀行

「投資信託の販売会社における比較可能な成果指標（K P I）」の公表について

みちのく銀行（頭取 藤澤 貴之）は、2017年6月30日に「〈みちのく銀行〉お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表いたしました。今般、本取組方針に基づく活動を実践するにあたり、当行取扱いの投資信託におけるリスク・手数料・リターン等お客さまに比較いただける「投資信託の販売会社における比較可能な共通K P I」を新たに公表いたします。

当行は、今後もお客さまに信頼される銀行として「お客さま本位の業務運営」を徹底してまいります。

以 上

# 投資信託の販売会社における比較可能な 成果指標(KPI)について

株式会社みちのく銀行

## はじめに

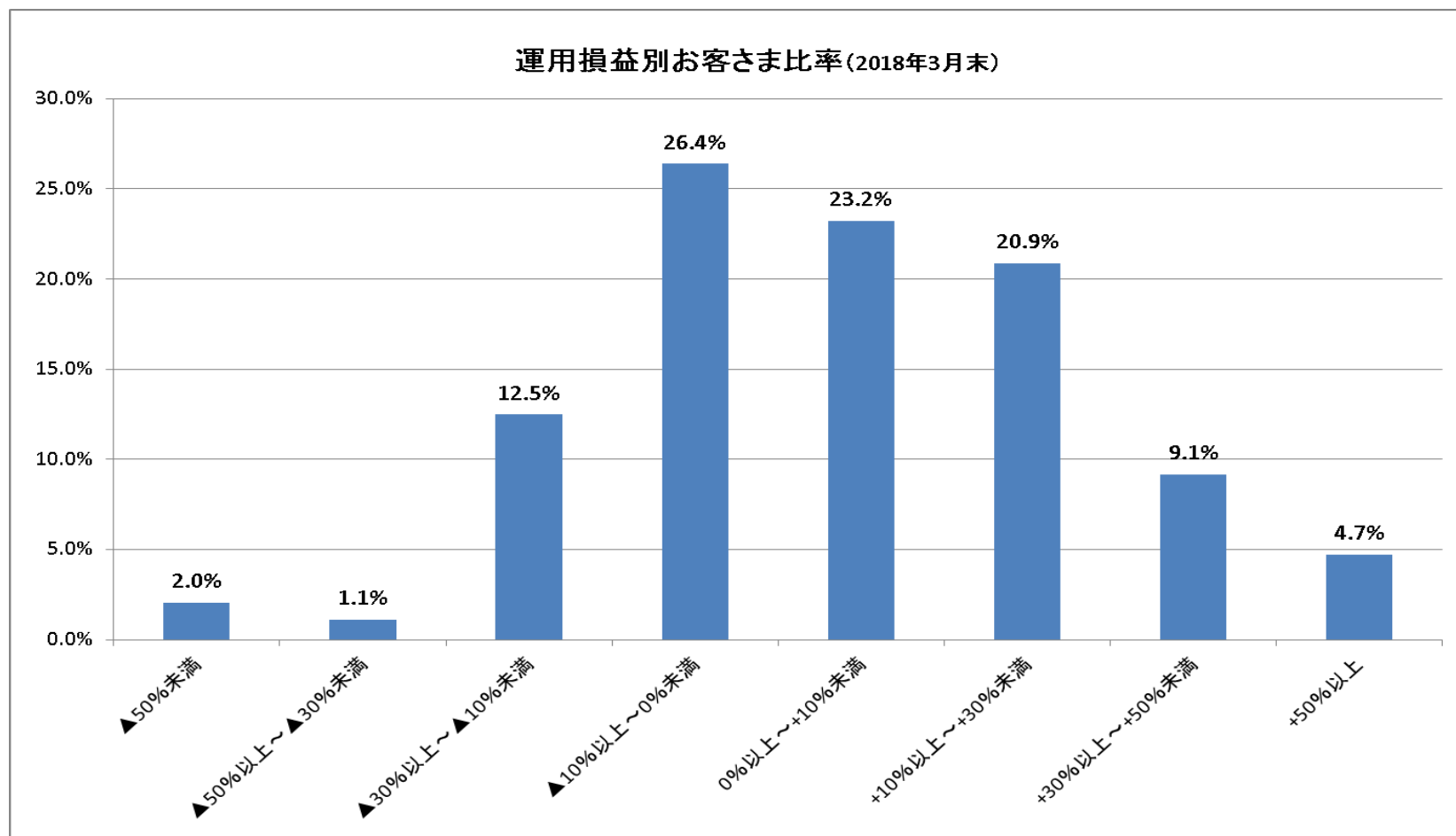
みちのく銀行は、2017年6月30日に「〈みちのく銀行〉お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定し公表いたしました。本取組方針については金融商品の提案に際し、お客さま本位の提案を徹底することで、お客さまに最良のサービスを提供することを目的としております。

今回、当行取扱いの投資信託におけるリスク・手数料・リターン等お客さまに比較いただける「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」を新たに公表いたします。

当行では今後もお客さまの資産形成に係る取組状況を定期的に検証し、活動の改善を図ってまいります。

## ①運用損益別お客さま比率

当行において投資信託を保有していただいているお客さまについて、2018年3月末時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を運用損益別にお客さま比率を示した指標になります。

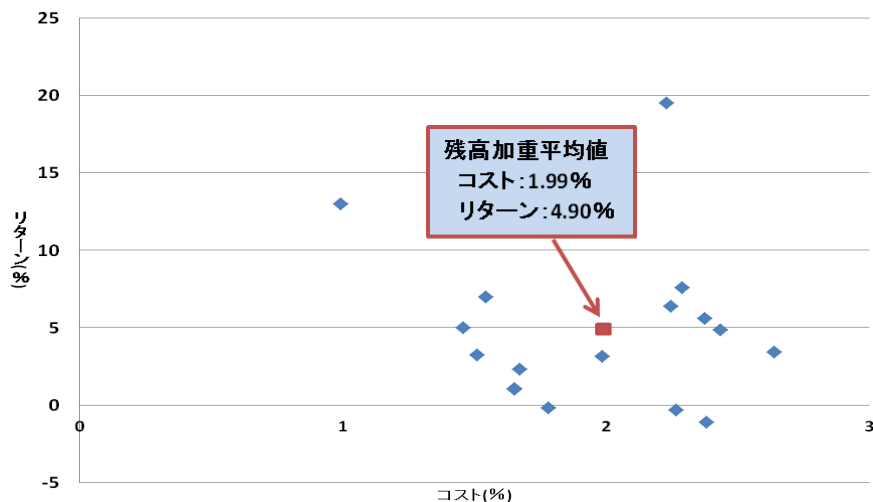


※2018年3月末(基準日)までの「トータルリターン」を基準日時点の評価金額で除して損益率算出しております。

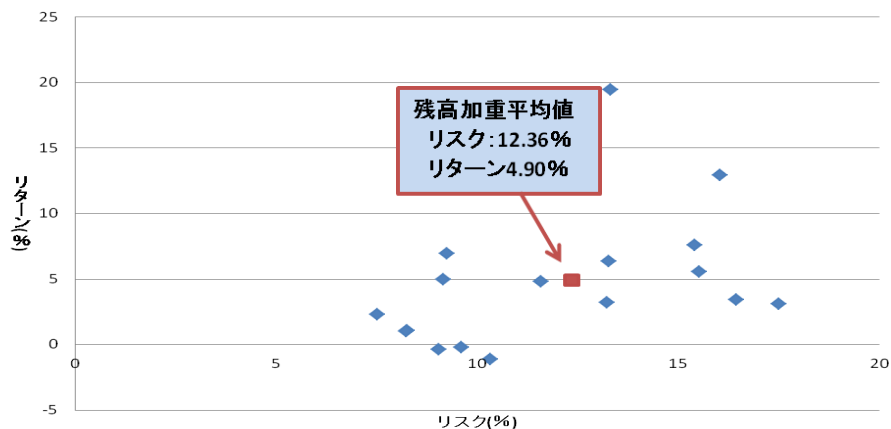
## ②投資信託預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」及び「リスク・リターン」

当行取扱いの投資信託において、設定後5年以上の投資信託の預り残高20銘柄について、銘柄毎及び預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標になります。

投資信託のコストとリターン上位20銘柄(2018年3月末基準)



投資信託のリスクとリターン上位20銘柄(2018年3月末基準)



【投資信託残高上位20銘柄】

1	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
2	高金利先進国債券オープン(毎月分配型) (愛称:月桂樹)
3	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)
4	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
5	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型
6	ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)
7	日興インデックスファンド225
8	ニッセイ健康応援ファンド
9	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース) (愛称:世界家主倶楽部)
10	ニッセイJリートオープン(毎月分配型)
11	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)
12	アジア・オセアニア債券オープン(毎月決算型) (愛称:アジオセ定期便)
13	ピクテ資源国ソブリン・ファンド(毎月分配型)
14	MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)
15	のむらっぴ・ファンド(普通型)
16	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)
17	高金利先進国債券オープン(資産成長型) (愛称:月桂樹(資産成長型))
18	のむらっぴ・ファンド(積極型)
19	HSBCインドオープン
20	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(1年決算型) (愛称:ノアリザーブ1年)